

はじめに

中国学科 吉池 孝一

高等言語教育研究所が設立されて本年度で 6 年目になる。本研究所の年報『ことばの世界』も 6 号を発行するはこびとなった。本号には、論文、実践報告、および本研究所の活動報告を掲載した。原稿をお寄せくださった皆様には感謝申しあげたい。

さて平成 25 年度、高等言語教育研究所は以下の活動・事業をおこなった。ここでは本年度より始めた事業を中心に紹介をする。より詳しくは本号の活動報告をご覧ください。

- 1 公開講演会の開催
- 2 言語教育研究会の開催
- 3 多言語競演レシテーション大会の開催
- 4 外国語多読用図書の実
- 5 英語・スペイン語多読活動の推進
- 6 CALL 教室を利用した外国語自主学習支援
- 7 外国語授業改善研修会の開催
- 8 『ことばの世界』6 号の発行
- 9 学生自主学習支援
- 10 言語資料の展示
- 11 初期外国語学習書の蒐集と研究。

1.公開講演会の開催:「ポライトネスから見た日本語と外国語」(滝浦真人氏。12月9日)。本年度はパンフレットを多めに作り日進市・長久手市・瀬戸市の各市役所に置かせていただいたためであろうか市民の参加が目立った。また高校生のグループでの参加もみられた。3.多言語競演レシテーション大会の開催:年度初頭の運営会議において話し合いがもたれ、昨年度と同様に学生の係わる部分を増やしていくこととなり、9月の学生自主学習会の学生のみなさんに事前の作業や当日の運営の一部を担っていただいた。また自由演目として、レシテーション大会の審査時間に外国語による歌・歌劇・やや長めの語劇など、レシテーション大会では発表できない審査対象外の演目(各10分以内)を募集した。歌を含む演目2名の応募があり、この自由演目は大会会場に華やいだ雰囲気をもたらしたようである。10.言語資料の展示:「モンゴル帝国—パスパ文字と『東方見聞録』」(7月18日～8月13日。本学図書館にて)。図書館と本研究所の共催で行われた展示である。8月のオープンキャンパスでは多数の高校生に見ていただくことができた。またこの展示物をテーマとして、高校生と教員の図書館内ツアーをおこなうこともできた。11.初期外国語学習書の蒐集と研究:これは本年度より始めた事業であり研究所による研究の柱の一つとなるものである。「高等言語教育研究所は、今後一定期間継続して予算を計上し、日本で刊行された初期(江戸～大正初期)の諸外国語の学習書を蒐集購入し研究を行なう。」という方針を2013.11.28の運営会議にて確認した。2014.1.10現在における研究所所蔵の初期外国語学習書は1『英語箋』(万延二年刊)2『ピ子ヲ氏原板 英文典』(明治二年

刊)3『ピ子ヲ氏原板 英文典直譯』(明治三年刊)4『英吉利文典』(明治三年刊)5『英吉利單語篇』(明治三年刊)6『格賢勃斯 英文典直譯』(明治三年刊)7『英吉利會話』(明治四年刊)8『英語學捷徑』(明治五年刊)9『英吉利單語篇增譯』(明治六年刊)10『插譯英和用文章』(明治六年刊)11『繪入 英語早合點』(明治刊)12『獨逸單語篇和解』(明治四年序刊)13『魯語柱礎』(明治五年刊)14『改正蠻語箋』(嘉永三年刊)。以上英語、ドイツ語、ロシア語、オランダ語となっている。これらについては①研究所ウェブページでの公開(写真と解説)②展示会の開催③資料の研究④研究会の開催というように活用を図る予定である。

平成 25 年度 研究所會議構成員

研究所長	吉池孝一
外国語学部長	堀 一郎
教育研究審議会委員	広瀬恵子

英語教育部門	宮浦国江
初習外国語部門	江澤照美
日本語教育部門	宮谷敦美
CALL/ICT 部門	大森裕實

担当及び運営會議構成員(運営委員)

所長代理	堀田英夫
研究会・講演会	櫻井 健
レシテーション大会	熊谷吉治
レシテーション大会	西野真由
『ことばの世界』編集	長沼圭一
『ことばの世界』編集	福岡千珠
学生自主学習支援	福岡千珠
展示	吉池孝一
初期外国語学習書	吉池孝一